

森の整備をしよう

昔、私たちの生活を支えた森も放置されると木々は密になり、ネザサや竹が侵入し、常緑樹が成長し、暗い森になります。神保町の森（約1ha）はそういう森でした。

その森を紹介され、「ふなばし木の子の森」として、22年6月より活動を開始しました。森の大掃除から整備が始まり、測量で敷地を区分けし、区域を考える資料を作成しました。さらに森内の生態を調査して大体の様子が分かるようにしました。その結果、森が暗いのは低木のシラカシ、シロダモ、シュロ、ヤツデが多いからだとなり、まず明るい森にするため、それらの除伐作業とアズマネザサなどの下草刈りを優先して実施し、明るい森にしました。

24年には、船橋市の親子に森を楽しんでもらうイベント（夏：虫と遊ぼう、秋：森で遊ぼう、冬：クラフトを作ろう）を実施しました。残り少なくなった都市部の樹林地に生物多様性の空間があります。大事な環境を継続する活動に参加してみませんか。楽しく学び、遊べますよ。

あかるい森へ



手が入った区域は明るい森に変貌していきました。

さらに、以前から置いてある古木、古竹の山を片づけていきました。



森の生態を楽しむ

森の植生調査

- (高木) イヌシデ、シラカシ、ヒノキ、スギ、クヌギなど
- (亜高木) コナラ、イヌシデ、アカガシ、コブシなど
- (低木) ヤツデ、シュロ、イヌザクラ、ムラサキシキブ、ヒイラギ、シロダモ、モミジ、ヤブニッケイ、ネズミモチ、ヒサカキ、ウワズミサクラ、タブ、キズタ、コマユミ、コブシ、ケヤキ、ガマズミ、マンリョウ、グミ、ウコギ、ミツバアケビ、ハナイカダ、サンショウ、マユミ、エゴなど
- (草本) ナルコユリ、ヤマユリ、ホウチャクソウ、キンラン、アカネ、ノビル、シユンラン、など
- (鳥) コゲラ、ジョウビタキ、ルリビタキ、エナガ、オナガなど
- (獣) ウサギなど

ふなばし木の子の森

船橋市主催の森の学校「平成 21 年度森林整備養成講座」を終了した有志により平成 22 年 5 月に設立。

船橋市神保町の森を整備、保全し、環境保全、生物多様性の維持、地球温暖化防止対策の大切さを多くの市民や子供たちに伝え、啓発していくことを目的にしています。

「ふなばし木の子の森」では、

- ・安全で楽しい森の作業をする
 - ・四季で変わる森の生態に興味を持ち、森に癒される事を楽しむ
- 安全第一、無理せず、強制せず、をモットーに活動をしています。

本会の事業目的をご理解頂き、癒し、憩い、健康の活動に参加していただきたい。また、ご協力ご支援で次世代に繋げていきたい。



ふなばし木の子の森概要

設立 平成 22 年 5 月 23 日

活動地 船橋市神保町
まこと保育園に隣接

活動日 第 1 火曜日
第 3 土曜日
第 4 日曜日
(時間 9:00~13:00)

年会費 2,000 円
(含む保険料)

会員数 10 名
(令和 4 年 4 月現在)

会長 米澤 理雄
047-333-8199

<http://kinoko27784.at.webry.info/>

ふなばし

木の子の森

- ・森の生態に発見を
- ・森の作業を楽しみ
- ・森に癒される

船橋市の森を守る仲間

なりませんか

